

令和4年度 第1回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和4年12月1日（木）

18:30～20:20

1 鏡野中学校の部活動の現状

生徒の部活動の加入状況や、指導する教員の専門性の状況を報告した。また、部活動を増やしてほしいという地域からの要望も報告された。

2 部活動の地域移行についての動向

部活動地域移行支援コーディネーターの高岡敦史氏から「部活動の地域移行が目指す未来の姿」について国や県の方針について説明を受けた。

学校教育に依存している子どもたちのスポーツ・文化環境は、少子化の影響もあり、今のままでは立ち行かなくなっていく。部活動の地域移行は、部活動をそのまま地域で行うというよりは、地域のスポーツや文化環境づくりを地域ごとに進めるものであり、地域の指導者が子どもたちを育てる場をもつことで地域の教育力を高めるチャンスでもある。受け皿、活動経費、移動、施設等、多くの課題はあるが、知恵を出し合い、鏡野町に合った環境づくりを進めてほしいという説明をしていただいた。

また、同じくコーディネーターの長尾政則氏からは真庭市の取組の現状を伺った。

3 今後の進め方について

コーディネーターから説明いただいた国や県、近隣の市町村の動向をもとに、今後の具体的な取組のあり方等について意見交換を行った。

委員からは、「中体連の大会が今後どうなっていくか。」「運営母体はどうするか」「受け皿をどうしていくか。」等々の課題を指摘する意見がでた。また、「今後、子どもや保護者にアンケートを取り、ニーズや思いを把握する必要がある。」という意見も出された。